

安全勉強会を開催

～ 伐倒、刃物研ぎの際の安全対策 参加職員全員で再認識 ～

10月20日、豊後大野市朝地に所在する神角寺国有林2052林班内において各森林事務所森林官が講師となって、延期となっていた令和2年度第2四半期安全勉強会を開催し職員26名が参加しました。

はじめに、猪島大分森林管理署長から公務災害の発生状況を説明し、その中で、「今回は、伐倒による災害、刃物による災害に焦点を当て類似災害の防止を目的に安全勉強会を実施します。本日は、伐倒及び刃物の取り扱いの経験が豊富な工藤行政専門員、美村行政専門員、夏田行政専門員の3名が参加いただいていますので、その知識や技術を修得するとともに、今後の類似災害の防止等に役立て欲しい。」と挨拶を述べました。

本日の講師を代表して、竹田森林事務所 森 地域統括森林官から、安全勉強会の内容や進め方を説明したあと、各(首席)森林官から伐倒する際の基本的事項の説明、刃物を研ぐ場合の基本的事項の説明があり、保育間伐2班と刃物の研ぎ方2班にわけて、実際の作業に入りました。

伐倒では、受け口、追い口の入れ方、上方確認、待避場所の確認、また、かかり木処理ではチルホールを使って安全に処理する作業を体験しました。刃物の研ぎ方では、研ぐときの角度・鉋の持ち方などを学び参加した職員全員が安全意識を高めました。

本日の安全勉強会で学んだ、「伐倒の安全基準」、「刃物の研ぎ方」を、日常の監督業務、林野巡視、収穫調査時などに役立てることとしました。



猪島 大分森林管理署長(中央) 挨拶



司会進行 森 地域統括森林官



かかり木処理の様子 大城森林整備官補



腰鉋研ぎの様子